

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビーナスキッズみくにがおか		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日		2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童や保護者様のニーズを常に把握することでより専門的な療育ができる。	送迎児童が少ないので保護者様に毎回担当者からのフィードバックができる。児童や保護者様との対話を細かくすることでタイムリーにニーズを聞いたり児童の様子を共有するように心がけている。	対話だけではなくラインや電話を駆使して直接会えなくてもニーズの把握はしている。
2	コースが3つあることで個々のニーズに合ったより幅の広い療育の展開ができる。	コース別に療育の目的を共有することでひとりひとりに合ったコースを選択してもらう。	現状3つのコースを展開しているが、様々な角度から考え、新設コースの検討は常に行っている。
3	活動プログラムが月単位、週単位、で変化しているので飽きのこない療育を提供することができる。	児童が楽しく通えるように変化のある繰り返しを実施し定着を図っている。指導力を養うための研修・研究授業・模擬授業は常に取り組んでいる。	より良い方法がないか指導方法や教材の研究に取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSの活用が定期的でなく活動の様子が不透明と感じられる面がある。	HPIは定期的に更新しているが、インスタグラムの更新が定着していない。	サービス提供時間内に活動の様子を写真に撮り、それ以外の時間で更新する。また担当者を決めて更新していく。
2	家族参加型のプログラムが少ない。	以前は授業参観や親子体操教室を開催していたが、この数年できかない期間が続いて家族参加の行事がなくなってしまった。	祝日など利用して家族参加型イベント等を開催し、地域に開かれた事業所を目指していく。
3	集団療育を実施できる人材育成が難しい。	定期的な研修は実施しているが、習得状況に個人差が出てくるので個々に合った研修も必要となる。	より具体的に細分化した研修を必要な時期に取り入れる。全体での研修と個々での研修を実施していく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ビーナスキッズみくにがわか

公表日 R7年10月20日

利用児童数 51

回収数 22

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	86%	9%	0%	5%	入口近くのスペース（遊びスペース）は、人数のわりに狭いと感じたことがあります。	貴重なご意見ありがとうございます。現在は構造化を変えて遊びのスペースを広くとっております。今後どのような配置が良いか常に検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	95%	0%	0%	5%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	91%	0%	0%	9%	運動や学習に応じて、集中して安全に取り組めるように環境を整えて下さっています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き安全に配慮して集中できる環境で活動できるようにしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	91%	4.5%	0%	4.5%	春頃に人数が多い日だったのか、入った時に室温が高いと感じた。子どもは帰宅後に暑すぎてしんどいと言っていた。	貴重なご意見ありがとうございます。その日の気温や児童の人数に合わせた空調管理をしておりますが、より徹底した管理をしていきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	定期的な少しの時間でも見学したい。/専門性が高く、保護者に対してはわかりやすい言葉でフィードバックして下さいます。	貴重なご意見ありがとうございます。親子体操教室は祝日に不定期で開催しておりますのでぜひ参加してください。また授業参観等も検討していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	保護者が気が付かなかった苦手な面にも気づき、計画に取り入れて下さいます。	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き変化に早く気づき児童一人一人に合った療育ができるように尽力致します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95%	0%	0%	5%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91%	0%	4.5%	4.5%	毎月テーマが変わり、飽きかなさそうです。/様々な活動を通して、幅広い経験をさせて下さります。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後もお子様が楽しく通えるようにプログラムに変化を取り入れながら活動していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	22.73%	4.55%	13.64%	59.09%	わからないだけで、実際は行っているのかも。	貴重なご意見ありがとうございます。様々な情報を発信して地域に開けた事業所運営をしています。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	54.55%	9.09%	4.55%	31.82%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	療育での様子を毎回丁寧に教えて下さり、安心できます。	嬉しいお言葉ありがとうございます。限られた時間の中ではありますができるだけ丁寧に伝えられるように努力していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	86%	14%	0%	0%	子どもの良い面を見て下さり、苦手な所も伸ばせるように支援して頂いています。/最近の仕事のため、面談の時間を取る事ができていない。	貴重なご意見ありがとうございます。土曜日営業の日は懇談可能時間がありますのでご都合が合えばぜひ利用してください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	親子ともに寄り添って下さります。	嬉しいお言葉ありがとうございます。保護者様と協力しながらより良い事業所になるように精進していきます。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22.73%	9.09%	13.64%	54.55%	初めて参加した夏祭りは、先生方と交流ができてよかったです。子どもも楽しんでいました。	嬉しいお言葉ありがとうございます。イベントではお子様たちの普段とは違った表情が見られるので指導員も楽しいです。また色んなイベントを企画していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	91%	0%	0%	9%	子どもの様子や特性に応じて、その都度相談に乗ったり、選択肢を広げたりして下さいます。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後も色んな状況を共有できる事業所であるように努力していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	他の子どもとの仲立ちをして、関りが持てるようにして下さいます。	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き社会性やコミュニケーションを養えるように指導員が介しながら実施していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	77%	5%	0%	18%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	個人情報とは丁寧に取り扱いされています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き十分に気を付けながら運営していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	77%	0%	0%	23%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45%	5%	0%	50%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91%	0%	0%	9%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	73%	0%	0%	27%	その環境下になっただけでないのでわからない。	貴重なご意見ありがとうございます。毎日ヒヤリハットを共有し、事故を防ぐための努力はしておりますが、万一事故が発生した際のマニュアルも指導員で共有しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	優しく丁寧に関わってくださり、親子ともに安心して通えています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後も安心して通える事業所を目指していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	95%	0%	5%	0%	回数は少ないですが、毎回楽しみにしています。/毎回楽しみにしています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き楽しく通える療育を展開していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	とても満足しています。ありがとうございます。/子供をよく見て笑顔で関わってくださり安心です。保護者にはとても丁寧に様子を教えてくださり満足しています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後もより良いサービスが提供できるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ビーナスキッズみくにがおか		公表日		R7年 10月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	71%	29%	子どもの人数に合わせて配置などを工夫している。	物の配置など工夫しているが、狭い。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	71%	29%			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%			
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	86%	14%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	保護者を通して情報共有、連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	86%	14%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	就労準備型デイサービスピーナスクレセル等へ情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	57%	43%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	29%	71%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	57%	43%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71%	29%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	86%	14%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	86%	14%		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	86%	14%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	71%	29%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	71%	29%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		